

残る  
消えゆく



春日洞辺りの風景（山之上町）

# 地名のはなし

四

## 「洞」のはなし

山之上町佐口の「春日洞」は地域に村社の春日神社があることからつけられたといわれています。

このほかにも美濃加茂には「洞」のついた地名が多くあります。例えば、蜂屋の作り洞、伊深の寺洞、三和の古市洞、下米田の天神洞など。大洞は山之上、蜂屋、伊深にもあります。

地名はその土地の地形からつけられることがあります。洞とは谷あいの小平地や、そこにできた集落のことを指します。洞には山があつて、水もあるので作物がよく育ち、昔の暮らし方から考えると、平地に住むよりも洞の山際の方が生活しやすかったようです。

◆主な参考資料

谷川健一 岩波新書『日本の地名』岩波書店  
聞き取り調査